



での謎が解き明かされたりと、みなさんと一緒に豊かな時間を過ごすことができました。また、ビギナーズならではのワークショップでは、若い、新しい創造力に出会うことができました。2日間で述べ150人の方にご参加いただきました。



演劇ビギナーズ ユニット 20周年 記念事業

19年前の平成6年(1994年)5月30日は、演劇ビギナーズユニット(以下、ビギナーズと略記)が始まった記念すべき日です。この日、劇団M.O.P(2010年解散)主宰のマキノノゾミさんをお招きして、ご自身の演劇体験を語っていただきました。それから回を重ねて20回目となった今年の公演は、5期の参加者であった田辺さんの演出で無事終わることができました。1期から20期までの参加者総数は380人、公演入場者数は5,464名となりました。そこで、今年20周年を迎えたビギナーズを記念して実施した事業をまとめました。
(京都市東山青少年活動センター所長 西田尚浩)

参加体験談の募集

メインプログラムである7月のシンポジウムを盛り上げようと、ブログの記事にコメントを送信してもらうという形で、140字くらいの短い参加体験談をネット上で募りました。呼びかけは、「ビギナーズの体験談を中心に募集しますが、近況報告でも結構ですし、暑い夏をともした仲間へのメッセージでもかまいません。体験談のいくつかは、記念誌に収録させていただきます」というものです。現在、過去の参加者やスタッフの方々のメッセージが73通寄せられています。それらには様々な思いが綴られています。公演終了後はやり取りが途絶えた1期の参加者から、19年ぶりのうれしい便りも届きました。



シンポジウムとワークショップの実施

(7月6日・7日)

ビギナーズは初心者のための演劇ワークショップという形を取りながら、社会人としてのコミュニケーションスキルや自己表現、自分づくりについて学ぶ機会を提供してきました。

シンポジウムは2部構成で、MONOの土田英生さんと演劇プロデューサーの杉山準さんを迎え、20年の歴史を振り返るとともに、ビギナーズが長く続いてきた理由や青少年育成の視点から見て、演劇創作の過程に何が隠されているのかなどを語り合いました。会場には、懐かしい顔との再会や新たな出会い、感動あり、涙あり、新しい発見あり、そして、今

ラストシーン集の上映

(7月6日・7日と8月31日・9月1日)

シンポジウムの計画中に、「今までの修了公演のラストシーンを続けて上映してみたらどう」という意見が出ました。「それ、えんちやう」と始めてはみたものの、初期の頃のVHSテープをDVDに落とす作業に時間を取られたり、8ミリビデオが再生できる機器がないと見られないテープがいくつかあり、過去の参加者に「VHSで渡した公演テープを持っていれば貸してほしい」とお願いしたりで、素材が全部揃うまでに相当時間がかかりました。編集作業では、公演時のパンフレットに書いてもらった参加者コメントを各期3つずつテロップに入れて完成。シンポジウム終了後の会場でも、また20期ビギナーズの修了公演前後の時間のロビーで、それぞれ上映会を行いました。ロビーに映し出される知り合いの姿を見つけた観客からは歓声が上がります。シンポジウム会場では、スクリーンに映った17年前の自分の舞台を見て涙する姿も見られました。



パネル展示

(8月1日から9月5日まで)

1期から20期までのパネルを展示したのは創造活動室の外壁面。各期のパネルは、ユニットネーの由来を含む公演データや練習風景、本番前の緊張感などぎる瞬間をとらえた写真、公演後の記念写真などを中心に、新聞記事も加えて構成されたもの。修了公演を親に來ていただいたお客様をはじめ、普段、センターで活動されているみなさんも足を止め、二十期二十色のビギナーズの歴史に想いを馳せていました。また、ビギナーズのことをご存じない方々には、この企画の一端を知っていただくきっかけとなったようです。



20周年記念活動報告冊子の作成

20周年記念のもう一つの目玉は記念誌の発行です。冊子の内容は20期分の公演記録や寄稿文、参加者・スタッフの体験談ほか、公演チラシギャラリーなどに加え、事業評価・事業の効果測定も盛り込みたいと、シンポジウムの報告、参加者や関わりの方々のアンケート調査の統計的な分析結果から見えてくるもの3つを入れて構成しています。編集作業は12月の発行を目指しています。

■シンポジウムデータ

第1部「演劇創作コミュニケーション力」

パネリスト

田辺剛
(劇作家、演出家/下鴨車窓)
(ビギナーズ1999受講生,2013演出担当)
西田尚浩
(京都市東山青少年活動センター所長)
(ビギナーズ1994~1997,2001,2011~担当)
前畑佳史
(島津エス・ディー株式会社)
村上直之
(神戸ビエンナーレ2013ディレクター)

モデレーター

岡野真大(私立光華小学校教諭)
(ビギナーズ2008~2013講師)

第2部「演劇ビギナーズユニットの20年を語る」

パネリスト

大熊ねこ(俳優/遊劇体)
(ビギナーズ2007~2009演出補)
杉山準
(NPO劇研事務局長/演劇プロデューサー)
(ビギナーズ初代(1994~1999)プロデューサー)
土田英生
(劇作家・演出家・役者/MONO主宰)
(ビギナーズ初代(1994・1995)演出担当)
山崎彬(劇作家・演出家・役者/悪い芝居)
(ビギナーズ2010~2012演出担当)

モデレーター

丸井重樹(演劇制作者, KYOTO EXPERIMENT 事務局)
(ビギナーズ2000~2005, 2008~2013プロデューサー)